



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために  
SERVE TO CHANGE LIVES

2021-2022

第 37 回例会

RI テーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

SERVE TO CHANGE LIVES

クラブテーマ

心はひとつ One for all, all for one

「一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために」

## 会 報

No. 1185

豊橋東ロータリークラブ

事務局：豊橋市花田町石塚 42 豊橋商工会議所内 TEL 0532-56-8566 FAX 0532-39-7520

会長：齊藤伸明、副会長：平野正博、幹事：水谷朱美、出席・会報委員長：坂牧博美

令和 4 年 6 月 15 日(水) 12:30~13:30

例会場：ホテルアークリッシュ豊橋 5F ザ・グレイスA 担当：職業奉仕

ロータリーソング「それでこそロータリー」/「四つのテスト」：佐原 太郎 さん

ゲスト 国際ロータリー第 2760 地区 2018-19 年度ガバナー 村井 総一郎 氏 (豊橋 RC)

出席報告

会員総数	計算会員	出席免除者数	欠席	出席率	6 月 1 日修正出席率	ビジター
52 名	47 名	8 名	11 名	76.60%	100%	0 名

### 会長挨拶

齊藤 伸明 会長

梅雨入りが発表されました。梅雨という言葉は中国から伝来したもので日本では五月雨が主流でした。新聞記事の当て字で読み仮名を付けず使えるのは梅雨、五月雨のほか、田舎、乙女などです。アジサイなど動植物名は原則片仮名表示です。今年度例会もあと 2 回となりましたが、最後の卓話にふさわしく村井パストガバナーにお越しいただき「ロータリーの職業奉仕」についてお聞きできることを大変うれしく思います。

### 本日のプログラム

『職業奉仕 基本のき (基・樹)』

国際ロータリー第 2760 地区

2018-19 年度ガバナー

村井 総一郎 氏 (豊橋 RC)

職業奉仕とは、職業奉仕という考え方、職業サービスという考え方を念頭に置いて、相手の立場に立った職業活動を行い、思いやりと、相手の喜びを自分の喜びとする理念をもって、より高い 4 つのテスト、倫理観をもって、世の中に広めていくことです。ロータリーは活動団体、活動する人、ロータリアンは奉仕の心を実践する人たちです。それを広めましょう。自分一人だけ勉強するだけなら研修会です。勉強したこと、学んだこと、身についたことを会社の中で広めてきましょう。商品を通じてお客様に伝えていこうとすることが職業奉仕です。職業奉仕は、自分が磨かれたことが奉仕じゃなく、磨かれたことを従業員に広め、商品を通じてお客様に伝えていこうとすることが職業奉仕です。



「我らの生業」という歌があります。めったに歌わないと思いますがその 2 番に、奉仕に集える 我らは望む 正しき道に=倫理にのっとった道に果(このみ)をとると=成果を取ります 人の世こぞりて=みんなこぞって 光を浴みつ=脚光を浴びると言いますか、一つずつ生活が出来て 力を協

(あ) わせて 争い忌むを=戦争も含めまして、同業者との無駄な争いもやめましょう おおロータリアン 我らの誓い となります。

恩師 土屋先生から、職業人として、正々堂々と王道を貫いたご褒美が、各自の企業の繁栄につながる、これが職業奉仕の概念だと伺いました。ご褒美=profit 奉仕は外向き ご褒美は内向き 内向きの奉仕、外向きの奉仕と言っている方もいます。否定はしませんが、内向きの奉仕はないと思っています。奉仕というのは、どちらにいつても外へ向くものだと思っています。その成果というのが、それが評価というもので、内向きであるということになります。

最後のポイントです。損得より善悪を考えましょう。やっぱり思いやりの心を持ってください。そして 4 つのテストを大切にしてください。商売人は損得にいきますが、ロータリアンはバッチがあるのですから、しっかり善悪で考えましょう。

最後です、ロータリーは奉仕の心の実践です。思いやりの心、奉仕の心は皆さん方が心の中に元々持っています。それを意識するか、しないか、ここがロータリアンとしての違いです。本当のロータリアンは意識して実践するところが、職業奉仕の実践です。

ご清聴有難うございました。

### 5 分間スピーチ

古越 純 さん

B リーグに、新 B1 基準という新たな B リーグが開幕することを皆さんご存じでしょうか。新 B1 基準は、2021 年 6 月に発表され、B1 で居られるための基準が出来ました。その基準は、3 つのテーマをクリアしないといけなくなりました。売上・アリーナ基準・入場者数です。地域に三遠ネオフェニックスというトップリーグのチームがあります。作ろうと思っても作れません。地域の宝を是非、応援しましょう。



原稿：柴田 國汎 さん/写真：水谷 直人 さん